



第九たいむず

Beethoven

No.7 2015.7.16 通刊1149号 担当 GON

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(あきら)



ダブル台風の影響か、ここ数日7月としては耐えがたい猛暑が続きました。ぼーっとする頭、崩れる体調にならぬよう気をつけてください。無理ながんばりは止めましょう。さあ、楽しく練習に取り組みましょう。

◆ 新人歓迎会が行われました

今年は第8回ヨーロッパ公演という事もあり、1月以来多くの新人さんが入団致しました。その内の15名の方々が出席し、新運営委員の松島さんと深町さんの司会で歓迎会が行われました。簡単な自己紹介、合唱への思い等を話していただきました。皆さんどうぞ宜しくお願いします。

赤羽団長より歓迎の温かーいお言葉もいただきました。



◆ 7月からの駐車場及び駐車料金補填について 順調ですか？

1. 7月よりの、駐車場については皆さん各々確保されたことと思います。
毎回の駐車料金領収書を必ずもらい、保管願います。
2. 駐車料金領収書5枚分を毎月第1週目の練習日に一律1000円と交換し、駐車料金補填とします。
◎初回交換日を8月6日(木)といたしますが、交換方法については、今後あらためてお知らせいたします。

◆ クリスマスメドレーⅢ 練習用CD配布中

女声用(ソプラノ、アルト)男声用(テノール、バス)各@200円、バス大里さんまで。

◆ お願い

- ① 駐車場から歩いてくる時間を見越し時間には余裕をもってお出かけください。
- ② 練習開始時の椅子やピアノ、指揮台の準備、終了後の椅子の片付けにご協力ください。
- ③ 楽譜には必ずパートとお名前を書いてください。
- ④ 練習中の私語は厳禁です！指導者の声が後ろまで聞こえません。
- ⑤ パート練習終了後の連絡事項は必ず聞きましょう。
- ⑥ 携帯電話は電源を切るかマナーモードにしましょう。
- ⑦ 香水など香りの強いものの使用は控えましょう。

◆ サマーレッスン、納涼祭参加受付中

サマーレッスンの受付を開始しました。今年もサマーレッスンで力を付けましょう。8月23日(日) 9:30~16:00 中央公民館で行います。受付で参加/不参加を表示してください。

また、お弁当(550円/栄寿亭のカツ丼&お茶)を希望される方は代金を添えて申し込んでください。納涼祭はサマーレッスン終了後、行います。詳しくは申込書をご覧ください。

◆ 第42回演奏会用の文字「第九」本日募集締め切ります。

半紙に毛筆で「第九」をお書きになり、受付にお持ちください。なお応募は団員に限ります。字体はなるべく太く、力強いもの。7月16日(木)締め切り。運営委員会にて選定後決定。

◆ 名札をつけましょう

新入団員さんを含め140名を超える団員数になりました。お互い名札を付けてお名前を憶えましょう。名札の形式、表示は自由ですが、できるだけ大きな文字で、呼んでもらいたい名前をお書きください。

◆ 今後の予定

- 7月19日(日) 海外特別練習⑦ 中央公民館視聴覚室 ICEC によるドイツ公演旅行説明会有り
- 8月23日(日) サマーレッスン兼海外特別練習⑧(高崎中央公民館大ホール)
- 10月17日(土) 18日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)
- 11月 6日(金) ドイツ・トリアー公演(現在91名、まだまだ参加者募集中)
- 12月19日(土) 第42回第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ イベント情報

- ★群馬オペラ協会結成 10周年記念公演『みづち』 9月6日(日)前橋市民文化会館大ホール
アルト菊池きよさんがみづち合唱団の一員として出演します。なお本公演に先立ち8月8日(土)に榛名湖ミュージックフェスティバル2日目演目として、「みづち」ハイライトがあります。
詳細問合わせ、チケット等は、アルト菊池さんへ。
- ★群響創立70周年記念オペラ『蝶々夫人』 9月19日(土)桐生公演 9月23日(水)前橋公演
テノール外處さんが合唱で出演され、桐生公演では諸田広美さんがすずき役で出演されます。
指揮 三ツ橋敬子、演奏 群馬交響楽団、チケット発売中 詳しくはチラシをご覧ください。
- ★日本とロシアの音楽の歴史的交流「音楽の架け橋」 9月23日(水) 14:00開演
高崎シティギャラリー コアホール
ユリヤ・レヴ先生が出演されます。 @2,500円 詳しくはチラシをご覧ください

◆ ソプラノ入澤洋子さん表装作品でご活躍

7月5日の上毛新聞にも紹介されましたが、華道・俳画・表装の県内3人の女性作家による合同展「華・画・装—華と俳画と表装と」が7日迄開かれました。ソプラノの入澤洋子さんはご存知の方も多いと思いますが表装作家として県内はもとより中央でも注目されており、この春には東京表具経師内装文化協会主催 第58回表装・内装作品展で「表装作品展委員会委員長賞」を受賞しました。(その作品が右の写真です)

もちろん、この受賞作も展示されましたが、俳画の安中在住「綿田翠祥」さんの作品が入澤さんの表装により、より生き生きとし、又展示会場空間を作り上げたのが、華道の前橋在住「青柳良寒」

さん。上州の女性3人の和のコラボレーションは、ユリヤ先生、ファニーさん、ガオシャンさんのトリオ「アンファリア」を聴いているような心地良さを覚えました。

皆様も、次の機会にご覧になっては如何でしょうか？

(大里 記)

